

1. 検討対象区間の概要

1-1 検討対象区間の概要

大石川発電計画は、大石川に設置されている池の平砂防ダムの湛水池である遊亀湖から取水し、農業用の温水ため池である八千穂レイクとの落差を利用し、最大使用水量毎秒 0.61m^3 で最大出力 57kW の発電をおこなう水路式の第一発電所と、第一発電所が八千穂レイクに放流した後、八千穂レイクから取水し、駒出キャンプ場の水無川付近との落差を利用し、最大使用水量毎秒 0.61m^3 で最大出力 990kW の発電をおこなう水路式の第二発電所を建設するものである。

本発電計画の使用水量は、既存の柳沢用水、勝見沢用水及び唐沢用水の灌漑用水を含むものであり、第二発電所の水圧管路途中で柳沢用水に分岐し、第二発電所発電後は勝見沢・唐沢用水にその水利権量を分岐するとともに、残量は水無川に放流する。

減水区間は、遊亀湖の池の平砂防ダムから水無川と大石川の合流地点までの約 5.6km である。

検討対象区間は、減水区間と同じく、池の平砂防ダムから水無川と大石川の合流地点までの約 5.6km とした。

流入支川は、検討対象区間内にはないが、カプト岩湧水をはじめ主なものでも9カ所で湧水が流入している。

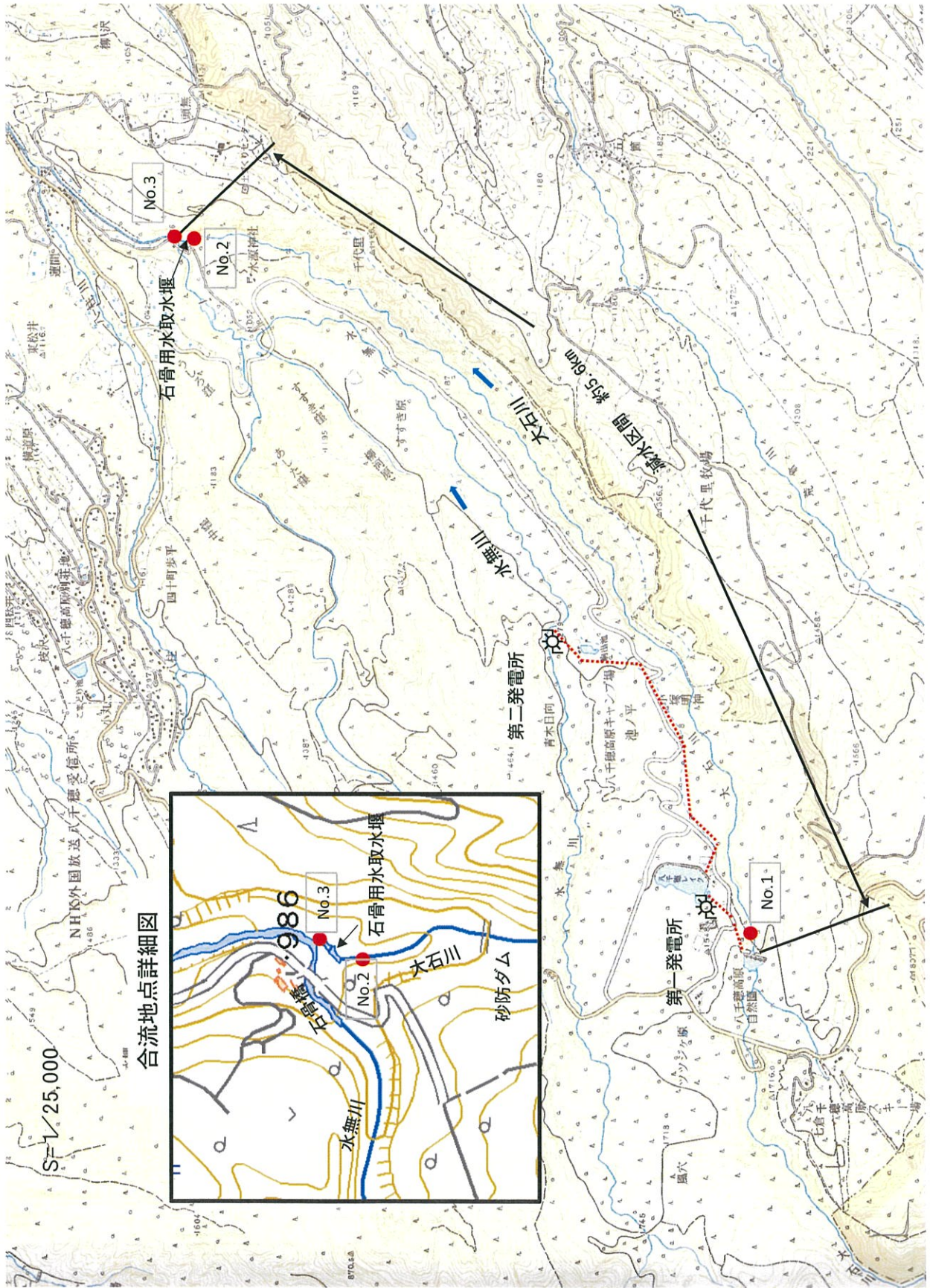
遊亀湖地点の流域面積は約 7.0km^2 、水無川合流地点の流域面積は 9.9km^2 であり、その間の残流域は 2.9km^2 である。

対象区間内には柳沢用水の水路橋はあるが、一般の人が利用可能な横断工作物はなく、近傍では水無川合流地点近傍の水無川に架かる町道の石骨橋がある。

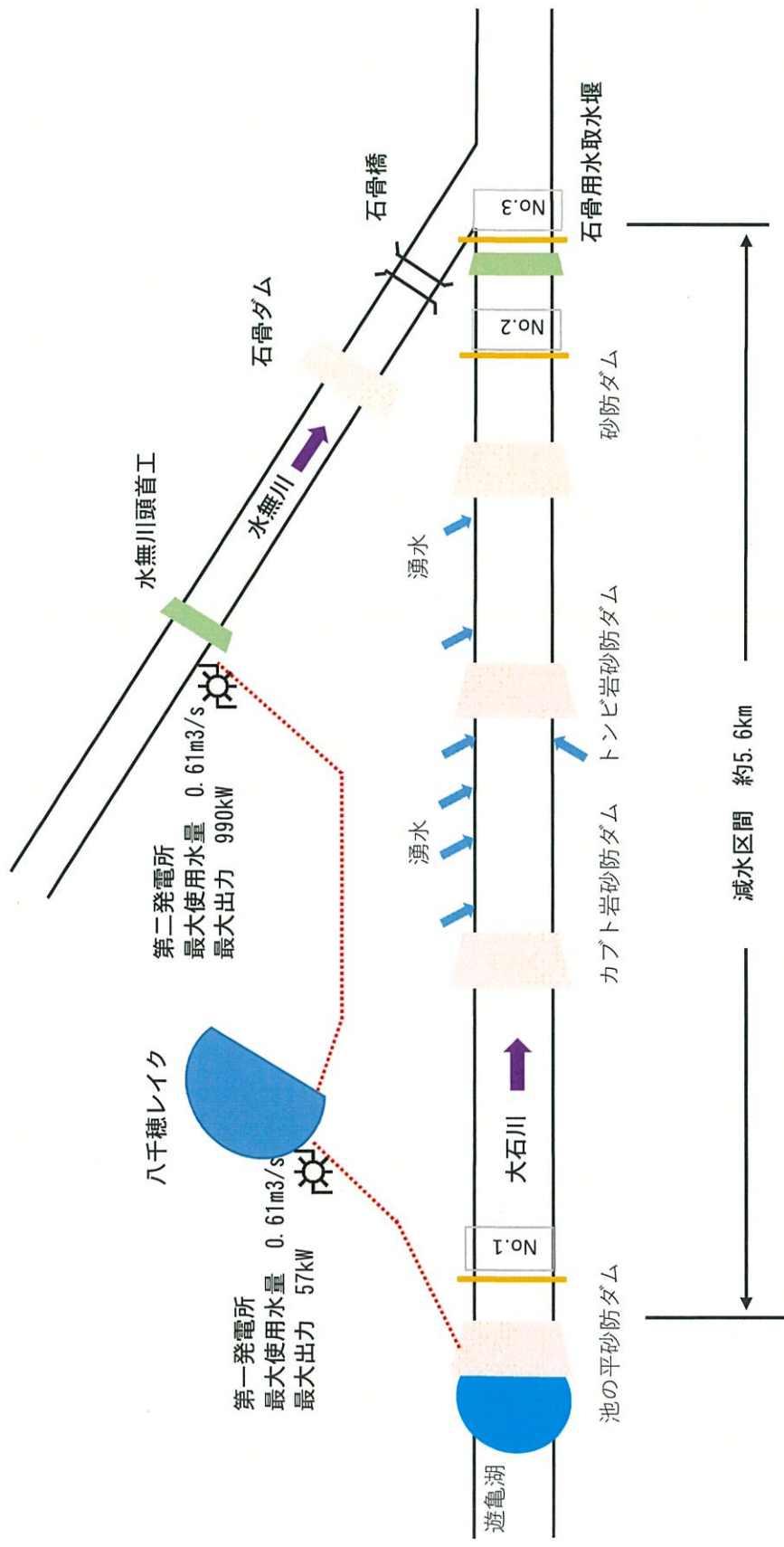
また、河川の利用施設として石骨用水（水利権量 $0.03\text{m}^3/\text{s}$ ）が水無川との合流地点上流約 20m 付近にある。なお、第5種共同漁業権が設定されている。

調査地点の概要を把握する下記の図を添付する。

- ・ 図－1 平面図
- ・ 図－2 減水対象区間模式図
- ・ 図－3 大石川水系利水系統図（農業用水含む）
- ・ 図－4 大石川取水地点流域図



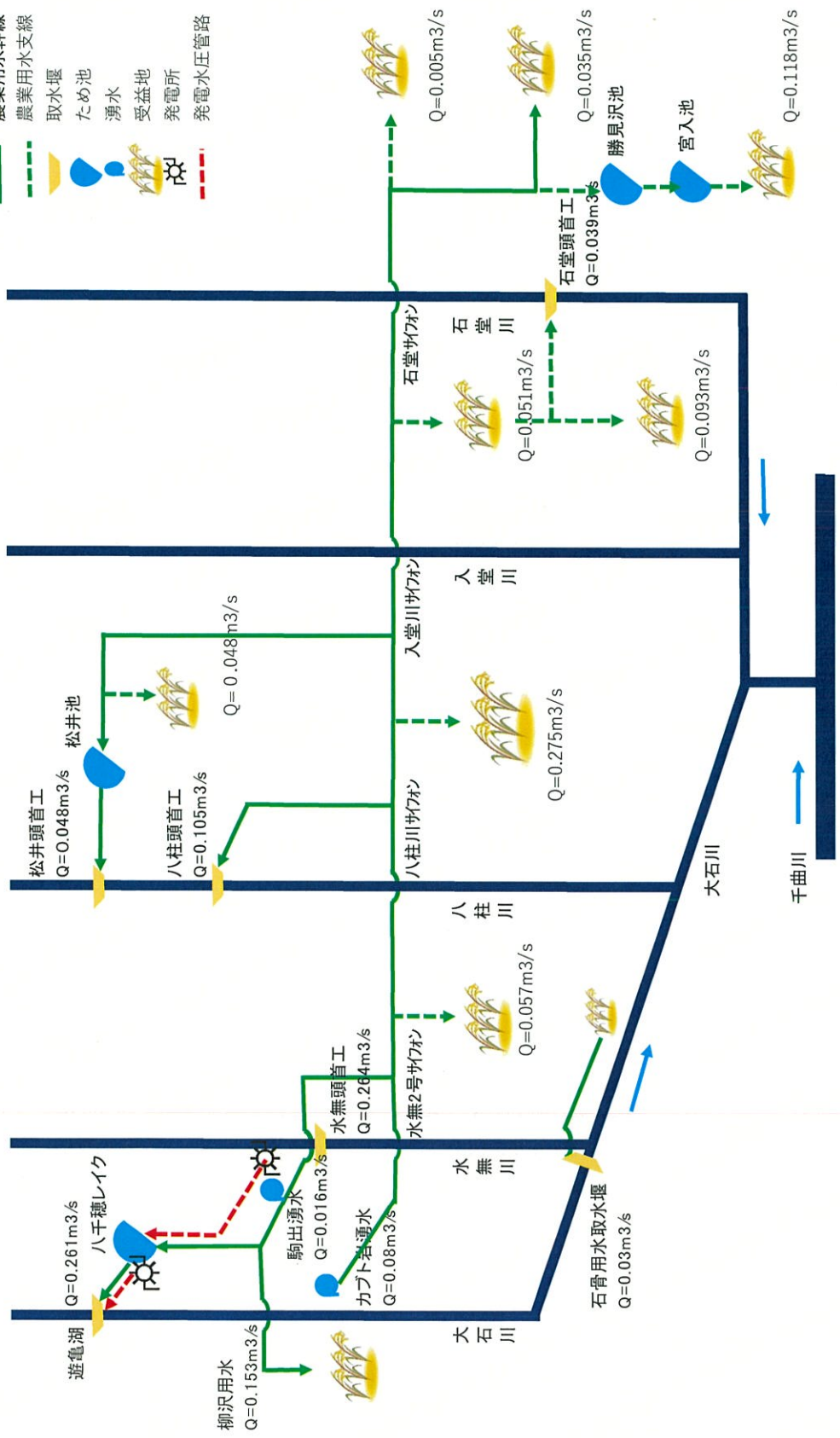
図一1 平面図



図一2 減水対象区間模式図

凡例

- 河川
- 農業用水幹線
- 農業用水支線
- 取水堰
- ため池
- 湧水
- 受益地
- 発電所
- 発電水圧管路



図一3 大石川水系利水系統図(農業用水含む)

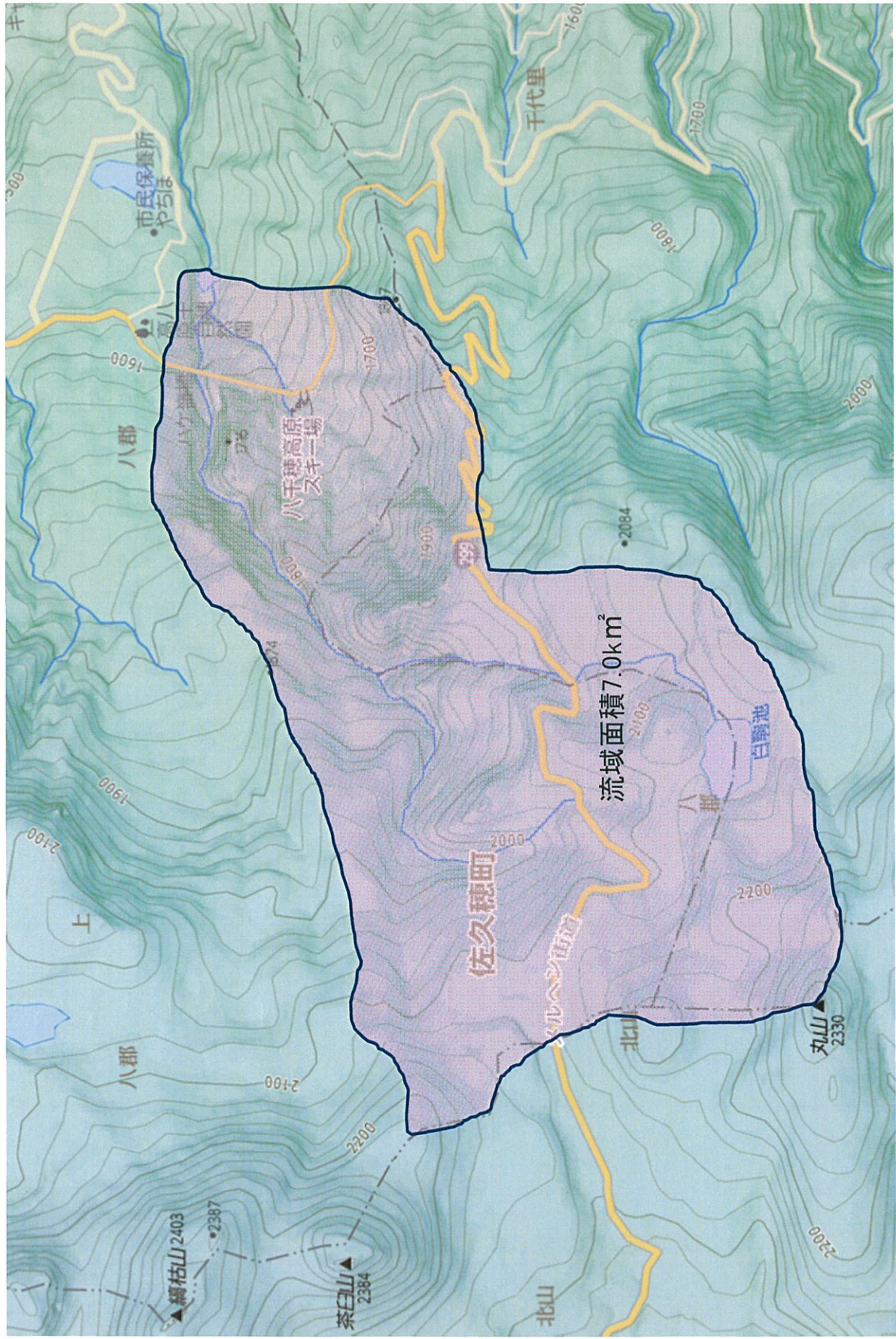


图-4 大石川取水地点流域图